

令和3年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(いわき地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

	拠点校Ⅰ (いわき市立中央台南中学校)	拠点校Ⅱ (いわき市立中央台東小学校)	協力校 (いわき市立中央台南小学校)
次年度への 展望	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導と評価の一体化を実現するため、さらに授業改善を図っていききたい。 ○ 生徒の学習意欲の向上や自信につながる効果的なCAN-DOリストの活用の在り方を模索したい。 ○ 生徒が英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるような場面設定の工夫に力を入れていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語教育推進リーダーが担当した授業の実践内容および成果や課題について校内で共有し、学級担任による外国語指導の充実を図っていききたい。 ○ CAN-DOリストを活用した実践研究を進め、中学校と連携し、内容や形式のつながりをもたせたリストを作成していききたい。 ○ パフォーマンステストコンテンツの効果的な活用のあり方を模索していききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストを見直し、児童の主体的に学習に取り組む態度が養われるよう取り組んでいきたい。 ○ 児童同士の会話が継続するよう、相手の話に対して、質問や繰り返しの言葉を積極的に取り入れさせたい。
取組を振り 返って	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストを効果的に使用することで、主体的に学習を行う生徒の姿が見られた。 ○ 小学校との情報交換が大変有意義だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的・場面・状況のある言語活動を軸として指導を行ってきた。 ○ 外国語教育推進リーダーによる「CAN-DOリストの設定と活用について」の講習会を実施し、校内における周知と普及を図った。 ○ 一人一台端末の有効な活用法について各学年、教科で実践を重ね共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを効果的に活用することで、楽しく学習に取り組みながら、正確に学習内容を理解することができた。 ○ 単元の導入でゴールとなる姿を見せたことで、積極的に練習する姿が見られた。表情や身振りも参考にしようとする姿も見られた。
課題に対す る具体的な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストの活用やパフォーマンステストにおけるルーブリック評価の実施、さらにICTを活用した個々の学習状況の把握にも努めた。 ○ 授業外では、1年生を対象として短学活の中で英語でのスピーチタイムを実施した。 ○ 小中間の交流をもち、実践内容や課題等を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストの機能をもたせた振り返りカードを各単元で作成し、目標の共有を行ったり目標に立ち返って反省を書かせたりし、児童の主体的な学習を促した。 ○ 単元末の言語活動に取り組ませる際はルーブリックを用いて評価基準を明示し、パフォーマンスの様子をタブレット端末を用いて蓄積し、評価やその後の指導に役立てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」を活用し、授業の流れを考えたりチェックシートで授業の改善に取り組んだりした。 ○ 振り返りカードを単元ごとに作成し、主体的な学習を促した。
年度当初の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己開示しながらコミュニケーションを図ろうとする態度 ● 音声と文字を一致させ、語句を書く力 	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーションに前向きに取り組む態度 ● 自分の気持ちや考えを伝えるために思考・判断・表現する力 ● 対話を継続する力 ● アルファベットの読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ● 気持ちや考えを伝えるために思考・判断・表現する力 ● 対話を継続する力 ● アルファベットの読み書き

推進地域の 重点的な取組

- 学校間での互見授業を通じた実態把握、課題の明確化
- 各校の目標、方法・取組の平準化・共有化(中央台スタンダードカリキュラム、CAN-DOリスト等)
- ICTや「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」の活用
- 保護者や地域への情報発信